

第 105回 ごみ収集パイプライン利用者の会の議事内容

1. 本日の目的

本日の会議は「説明」ではなく、今後の運用を見直すための合意形成の場とする。

- ① パイプラインの現状と課題の共有
- ② 今年度の活動目標
- ③ 新しい運転方法と紙資源処理の方向性の検討

■ 2. 情報共有

1. 満杯の実態 → 現行運転と実態が不一致
2. 電力と運転・効率改善は進んでいるが未最適
3. 今年度の活動目標の説明と確認
4. 紙資源・ごみの約 3 割 → 最大の改善余地

■ 3. ディスカッション(30 分)

テーマ①:新しい運転方法

【問いかけ】・早朝は全体運転が必要か? ・13 時運転は有効か? ・曜日で運転を変えるべきか?

【確認ポイント】・利便性への影響・カラス・横置き問題・現実的に運用可能か

テーマ②:紙資源の処理

【問いかけ】・分別を「習慣」にするには? ・住民に何を伝えるべきか?

【方向性】・紙袋方式・迷わないルール化

■ 4. NEXT ACTION(15 分)

- ① 運転方法の試行・早朝部分運転・13 時前倒し運転
- ② データ検証・電力量・満杯数・住民影響
- ③ 住民周知・運転変更説明・紙資源の簡易ルール
- ④ 次回会議・試行結果報告・改善点整理

■ 5. 締め

本日のポイント

- ・現行運転は見直しが必要
- ・紙資源は大きな改善余地